

様式1（交付申請書兼請求書） 金額欄の書き方

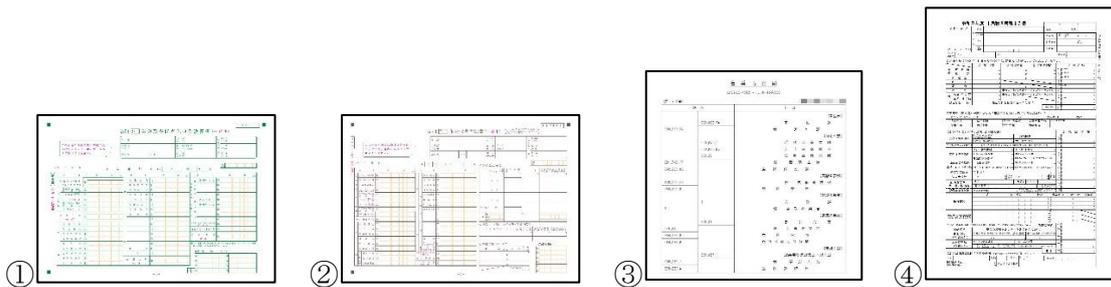
該当する水道光熱費等の科目及び金額					
電気料	円	ア	重油代	円	オ
上水道料・下水道料	円	イ	軽油代	円	カ
ガス代	円	ウ	ガソリン代	円	キ
灯油代	円	エ			
①合計額 (ア+イ+ウ+エ+オ+カ+キ) (※1)					
②算定額 (①合計額×1.2) (※2、※3)					
③交付申請額 (②又は50,000円のいずれか少ない額)					

様式1（交付申請書兼請求書）

■ 1度でも申告を行った方

申告の区分に応じて申告書類を確認

- ①個人事業主（青色申告）・・・令和4年分の決算書
 - ②個人事業主（白色申告）・・・令和4年分の収支内訳書
 - ③法人・・・直近の申告時の損益計算書
 - ④自治体へ申告している方（住民税申告）
・・・令和5年度市民税県民税申告書または収支内訳書
- （※下記見本は黒石市の例です。お住まいの自治体により様式が異なります）



上記の書類の中から、「水道光熱費」の科目を確認し、金額が60万円以上の場合、補助の上限額（5万円）に達するため、科目ごとの金額（ア～キ）は記載不要となります。

交付申請書の「①合計額」に申告書類の水道光熱費の金額を転記し、「②算定額」「③交付申請額」欄のご記入をお願いします。

水道光熱費が60万円に達しない場合 → 裏面へ

■水道光熱費のみで60万円（補助上限額：5万円）に達しなかった場合

申告書類の中で「水道光熱費」の科目に含まれていない補助対象経費（電気料、上・下水道料、ガス代、灯油代、軽油代、ガソリン代等）がある場合、ア～キの欄に該当する金額を記入してください。（添付する各支払経費の領収証等の合計金額と同じ金額を記入すること）

次にア～キに記入した金額と水道光熱費の合計金額を「①合計額」に記入し、引き続き「②算定額」「③交付申請額」欄のご記入をお願いします。

例) 水道光熱費5万円、ガソリン代5万円の場合

該当する水道光熱費等の科目及び金額					
電気料	円	ア	重油代	円	オ
上水道料・下水道料	円	イ	軽油代	円	カ
ガス代	円	ウ	ガソリン代	50,000円	キ
灯油代	円	エ			
①合計額 (ア+イ+ウ+エ+オ+カ+キ) (※1)			600,000円		
②算定額 (①合計額÷12) (※2、※3)			50,000円		
③交付申請額 (②又は50,000円のいずれか少ない額)			50,000円		

ア～キの欄には
ガソリン代のみ記入

「①合計額」には
水道光熱費+ガソリン代
の金額を記入

■令和5年1月1日以降に事業を開始した方

ア～キの欄に、開業してから申請日の属する月の前月までに支払った経費を記入してください。（添付する各支払経費の領収書等の合計金額と同じ金額を記入すること）

例) 令和5年1月に開業、10月に補助金を申請する場合

該当する水道光熱費等の科目及び金額					
電気料	150,000円	ア	重油代	円	オ
上水道料・下水道料	100,000円	イ	軽油代	円	カ
ガス代	100,000円	ウ	ガソリン代	50,000円	キ
灯油代	50,000円	エ			
①合計額 (ア+イ+ウ+エ+オ+カ+キ) (※1)			450,000円		
②算定額 (①合計額÷12) (※2、※3)			50,000円		
③交付申請額 (②又は50,000円のいずれか少ない額)			50,000円		

ア～キの欄に
すべての対象経費を記入

「①合計額」を9(1～9月)
で割った金額が申請額